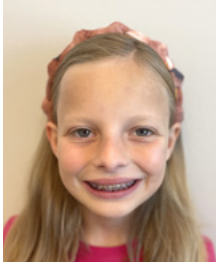


わたしは愛されている



ダリン・B, 9才
(アメリカ合衆国, ユタ州)

わたしは病気で、とてもつらい思いをしています。周りの人とはちがって、生まれつきトイレに行く必要のない体でした。

わたしは大きな手術を3回受け、小さな手術を何回か受けました。

自分はなぜこのような体なのかと思うことがありますが、神様と神様の救いの計画について考えると、自分がほかの人と同じように愛されていることを思い出します。福音の証を持つことはすばらしいことで、わたしは主に頼ることができることを知っています。

わたしは自分の体を愛しています。わたしは自分がほんとうに光の賜物であることを知っています(これはわたしの名前の意味です)。わたしは苦しくても、いつでも神様に助けを求めることができることを知っています。●

